

団 体 名

小出地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・しっかりした組織体制と役員会、各部会等での闊達な話し合いにより、協議会の仕組みが上手に使われていると思います。
- ・構成団体は、各自治会の会長含め、スポーツや子育て、学校 PTA 等地域の多様な団体の参加で構成されており、地域協議の基盤として十分な場となっていると思います。
- ・年間を通し協議会及び部会が開催され、委員等地域の方が参加され幅広く検討・協議が行われています。
- ・運営委員会、役員会、検討会、各種部会と、いずれも毎月精力的に活動なさっています。
- ・コロナ禍で、運営委員会、及び同役員会での定例会報告とも実施回数が少なく、この点ではかなり元気がない印象です。
- ・収支予算、決算は小さくまとめているますが、今後大きなテーマがでてくれば別の対応をすればよいと考えます。
- ・コロナ禍でも継続的に活動されていることは素晴らしいと思います。
- ・

事業の実施状況及び効果について

- ・「今の小出を見極め、これからの小出を考える検討会」の取り組みは大変よいことです。しかも、短期的にも今年度事業に早速つなげています。子どもの居場所づくりとして、コミセンの平和の泉を小学生にも開放されるとのこと、コミセンの使い方としても大変よいことと思います。
- ・スマホ教室、子供の居場所づくり、駅ピアノ、農産物直売所のネット活用なども地域で新しい資源をつなぐ試みとして工夫が見られます。
- ・「小出のピアノものがたり」がとてもよかったです。
- ・「駅ピアノ（小出のピアノ）」もただピアノ設置という事だけでなく、歴史あるピアノを皆に使って欲しいというコンセプトが良かったと思います。
- ・七福神めぐり・小出小学校150周年記念事業など、これまでの取り組みを基にさらに活動の幅を広げています。
- ・小出地区の重要なイベント「七福神めぐり」はお寺や観光協会の協力のもと地域が工夫されている様子がうかがえます。特に「のぼり旗74本」「お寺名前入りのぼり旗56本」は、視覚的にも田園地域の風景を構成するものであり、小出らしさのアイデンティティを醸成し、主催者側と参加者側の双方の意識を喚起する効果の高い取り組みだと思えます。
- ・小出地区の特色を生かした事業内容だと思えます。特に「下寺尾官衙遺跡」に関する事業、「七福神巡り」などは、毎年行われている様で地元の文化や歴史に触れる良いものと思えますので、これからも続けていって欲しいです。
- ・下寺尾官衙遺跡に関するセミナー開催など、積極的な活動は多くの市民により関心を持っていただく良い機会になっています。
- ・ごみに関するあらたな部会の設置を準備されている点が評価できると思います。
- ・農業の活性化の具体策で、朝市の開催に向けた検討が始まったようですが、当面は地道な試みとして定着するまで継続が良いと思われれます。

- ・社会福祉部会「お助け隊」の活動では、「買い物支援に関するアンケート」は、受援側のニーズを適切に把握し、結果を踏まえ今後の取り組みを検討なさっており工夫が感じられます。
- ・学校に通えない子どもが多いと聞きます。小学生を対象とした学習支援についてはぜひ実施していただきたいと思います。
- ・地域の特色ある取り組みを実施されている点は素晴らしいと思います。

今後の事業展開や発展について

- ・「駅ピアノ」は最近 You Tube でも結構人気が高く、再生回数も多いようですので、発信したらいかがでしょうか。
- ・七福神巡りは、地域のイベントとしてしっかり定着していると思います。子供や若者の参加を促すため、違った趣のイベントを考える場合、企画を中学生や小学生に任せると目新しさが加わり、地域主体としての自覚や地域環境（歴史・自然）の理解、親子を含めた新しい地域人材の発掘につながるかもしれません。それには、ライングループ通話やインスタライブ、You Tube ライブなど、若い人が気軽に参加できる SNS をうまく使うこと、まずは若い世代が楽しめることに着目すると、新しい価値が見つかるかもしれません。
- ・下寺尾遺跡は国指定の遺跡ですが、まだまだ認知度が低いと思われます。「七福神巡り」「下寺尾遺跡文化祭」等と併せて、地道な PR 活動に加えて SNS、TV 発信等も考えてはいかがでしょうか。
- ・ごみ問題も子供たちや若い人にも考えてもらう機会を学校連携などでつくれるとよいと思います。のぼり旗を子供がつくるのも面白いかもしれません。
- ・地区に茅ヶ崎市博物館が令和 4 年度中に開館します。全市的な施設ではありますが、小出地区の活動との連携を期待します。
- ・昨年度に引き続き、今年度も事業計画には各部会から様々な事業計画があり、ぜひ今年度も実施出来たらと思います。
- ・積極的な取り組みを蓄積して、小出地区の資産にするためにも、ウェブの活用など進めていただくと良いと思います。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・農業の活性化として「小出ブランド」を作るとありますが、品種改良、新種産出の為、学術機関との連携も模索したらいかがでしょうか。
- ・成人式、1 / 2 成人式、見守りボランティア、買い物支援やお助け隊と、小出地区の子供たちと高齢者をはじめ、多くの住民の暮らしをまちから協議会が支えている様子がよく伝わってきます。地域住民を大切にする温かく誠実な姿勢が窺えます。
- ・子供×田園×歴史×音楽（駅ピアノ）で、新しい小出の魅力が発見できそうです。
- ・音が奏でる田園風景（風、お寺、こどもと高齢者ボランティアの活気、駅前ピアノ、参照 NHK「音の風景」）が新しい地域資源になりそうです。
- ・農家、農地の存在も貴重な地域資源だと考えます。農家・農地あつての田園・自然環境かと思えます。農的資源の地域活用が、さらに新しい地域の活力につながるように思います。
- ・コミセン部会の事業予定もあつたら良いと思います。
- ・部会等が活発に活動されています。買い物支援は地域に合った取り組みがさらに広がることを期待します。
- ・小出地区の特性を生かし、緑豊かな環境の中、安全で暮らしやすい地域になることを期待します。
- ・今年度も工夫をしながら、様々な事業が開催出来ることを期待します。
- ・あえて地区外の人意見を取り入れたり、他地区との協働をしたりすることでより一層面白い発展があると感じます。
- ・各部会間でも横のつながりができると、次の盛り上がりが見えてくるといいと思います。
- ・買い物支援に関するアンケートも、教育や農業分野との連携を意識してもらうことでより活動が発展すると思います。

団体名

松林地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・コロナ禍にあっても、「まちぢから協議会連絡会」と連携し、役員会及び運営委員会において、同連絡会報告が確実に実施されているようで、評価されます。
- ・資料を拝見して、地域の方々がこの地域のことを真剣に考えて活動していらっしゃる事が伝わってきます。
- ・活動拠点となる地域集会施設（コミセンなど）がないこともあり、会議の場が難しいかと思いますが、運営委員会が年2回の開催は少なく感じました。
- ・収支予算・決算では、防災訓練が実施されなかったため（決算ゼロ回答）、次年度に改めて計上されていますので適当と判断されます。
- ・決算、予算について、部会・事業ごとに区分されていて分かりやすい報告となっています。
- ・役員会、広報部会を中心に、定期的に会議を行い、継続的な地域課題や情報の共有につながっています。
- ・テスト用コンポストの結果はいかがだったでしょうか？
- ・コロナ禍でも継続的に活動されていることが素晴らしいと思います。

事業の実施状況及び効果について

- ・ふくろう塾やかんがるうのぼっけをはじめ、市内でも先進的な活動をたくさん手がけておられます。コロナ禍でも工夫して活動を継続し、話し合いによって活動を発展させておられる姿は、他地区にも大きな励みとなるものです。
- ・地域集会施設がない中、空き家を利用した「かんがるうのぼっけ」や、自公民館を利用した「ふくろう塾」は、活動場所を工夫しての活動で良いと思います。
- ・「ふくろう塾」は子どもの参加人数が少ない月もある様でしたが、続けていくことにより1人でも多くの子ども達の居場所作りにつながっていくと思います。
- ・子育て世代の居場所づくり事業（かんがるうのぼっけ）では縮小しての実施、及び中学生の学習支援と夕食支援事業（ふくろう塾）は、コロナ禍にあっても良く工夫されて運営されていたかと思えます。
- ・「ふくろう塾」と「かんばるうのぼっけ」の活動は、コロナ禍で閉塞感に陥りがちな時期に、子どもたちや子育て世代を支える重要な支援を担っていると思います。
- ・子ども部会の活動を評価します。地域で孤立しがちな親や子どもを地域で見守るという仕事をきちんと行って素晴らしいです。
- ・ローティーンの子供たちは、親からの自立に向け1歩を踏み出している段階です。自己探索を行うため、社会の在り様を知って視野を拓け、その中で自分の位置づけを模索するゆらぎの大きい世代です。この世代は、親から離れることを始めるため、親以外の大人たちや、年齢の異なる世代と交流し承認されることが重要です。一方で、子育て世代でもティーン未満の子供たちの居場所は、全国的にある程度確保できているものの、ローティーンの子供たちの居場所は全国的にもそれほど事例は多くありません。その中で、親以外の大人に認められ、善意に触れて支えられているという

事実と実感は、子供たちの自己肯定感と生きる力を高めることに確実に繋がっていると思います。本事業は、非常に価値の高い先駆的な支援を行っていると思います。

- ・広報事業、特定事業はコロナの影響もある中でも開催・実施できたことは、その効果と事業を充実していくうえで重要であり、継続をしてください。
- ・地域ニーズを的確に掴んで継続実施されていることが素晴らしいと思います。

今後の事業展開や発展について

- ・子ども達を中心とした事業が多く、子育てにやさしい地域（地区）の印象を受けます。今後も地域の特色として活動を続けていってください。
- ・広報紙「松林タイムス」の全戸配布、小・中学校教職員への配布は地域の情報発信として良い取り組みです。ネット配信とともに活動の充実につながると思います。
- ・「ふくろう塾」や「かんばるうのぼっけ」は、1度のイベントで参加者が多ければいいというものではありませんが、潜在的なニーズは多いのではないかと思います。今の活動を安定的に継続していくことが最も重要と思います。その上で、可能であれば、参加できる機会の種類を工夫し、短時間で気軽に参加できる機会や、特になにもしないけど、好きなものを持ち寄って好きなことをし、好きな話をする場、または多くの人が短時間に楽しめるイベント的な機会等も有効だと思います。
- ・コロナ禍にあって、防災訓練の推進はかなりハードルが高いかと推されますが、感染予防策を考慮しつつ、実施しやすい簡単なことから始めて実績の積み上げが良策と考えます。
- ・検証を丁寧に行われているからこそ、外部知見を取り入れるなど改善に向けて頑張ってください。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・市内でも新たな取り組みとして、ふくろう塾を始め様々な活動を進めてきました。これからも地域のニーズに合った取り組みを期待します。
- ・歌体操が一般的になるのかは分かりませんが、ラジオ体操が底辺にあって今後発展定着するものか注視したいと考えます。
- ・松林タイムスの発行がコロナの影響で大変かと思いますが、オンラインでの広報は検討されていると思いますが、一方で紙媒体のメリットも多々あり、紙を基盤としつつ可能な範囲での複線化が望ましいと思います。
- ・防災や防犯といった事業や、地域全体が参加出来るものなども企画（事業）があると良いと思います。活発な活動を期待します。
- ・一方で、災害時に手助けの必要がある方を福祉の取り組みで把握できていることは、災害対応にも生かされると思います。
- ・今後も地域で支えあって守りあう活動を継続してくださることを期待しています。
- ・松林コミセンの整備に向けた研究は、地域活動のさらなる充実につながるものと思います。
- ・持続的な事業実施を考える上では、会場が使えなくても実施できる方法の検討など、是非このコロナ禍3年目だからこそ考えて欲しいです。

団体名

茅ヶ崎南地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・構成員に、地域の福祉団体や青少年団体からの参加が多く、茅ヶ崎南地区まちぢから協議会の活動にそった十分な構成員になっていると思います。
- ・部会が多く設置され、会合をきちんと持たれています。自治会からまちぢから協議会に分担金が納入され、これによって協議会は地域の重要な活動団体に資金を提供できています。
- ・運営委員会と役員会は、毎月組まれており良いと思います。コロナ禍で中止の場合も何らかの方法（書面やオンラインなど）で行われるとより良いと思います。
- ・コロナ禍で、運営委員会、及び同役員会での定例会報告と実施回数が若干省略され少なく、この点では元気がない印象です。
- ・備品購入費、部会費、団体分担金など、支出の割合も高いものは内訳があると良いのではないのでしょうか。但し、自治会分担金が突出して多く、特にイベントが多い地区なので、こちらの方で活動的なのかと思われます。事実、自治会部長会は相応に実施されています。従って、収支予算・決算等は妥当なレベルと判断します。
- ・コロナ禍でも継続的に活動されていることが素晴らしいと思います。

事業の実施状況及び効果について

- ・コロナ禍で制限されたなかでも何ができるかを考え実施していく姿勢が素晴らしいと思います。
- ・コロナ禍であっても、新年を祝う凧揚げの実施とその様子を YouTube 配信する、凧配布を会場配布ではなくコミュニティセンターでの配布に変えるなど工夫が感じられます。
- ・SDGs との関連付け（取り組み）がわかりやすく良かったです。
- ・駅近くで交通量が多いと予想されるので、子どもの安全を考えた地域での旗振りの取り組みは良かったと思います。
- ・学校が駅に近いこともあり交通量も多く道路幅も狭いことから、子供たちの安全確保は優先課題であり、安全見守り隊の活躍はこれからも期待します。
- ・自転車マナーの悪さに注目し、その課題について小学生を巻き込んで取り組みを行い、警鐘だけでなく子どもに責任感と達成感を持たせることも同時に出来たことを評価します。
- ・約 200 名の参加者（児童・大人含む）で行った自転車ステッカー大作戦は、子供たち自身が危険な場所を考え交差点に設置するなど、子供たちの地域学習となり、地域の安全安心につながり、多世代交流にもなり、多様な視点で効果が高いと思います。
- ・この地区の特性を考慮すると、HUG は災害時の備えとしては非常に有効と判断されますので、継続事業としたら良いと思います。
- ・避難所運営は、コロナ禍だからこそその課題も多く、この時期に主体的に訓練に取り組んだことは、有意義だったと思います。地域の課題は見つかりましたでしょうか。
- ・多様なバックボーンの方々で運営されている点で、SDGs を意識して検討されていることは素晴らしいと思います。

今後の事業展開や発展について

- ・今年度の事業計画（案）の事業計画が、事業名と要点のみなので、活動内容も明記されていると良いと思いました。
- ・凧揚げ会等はマスコミも結構注目しますので、安全面、風紀面とも十分注意して行い、地区の風物詩になるように勢力投入しても良いと考えます。
- ・「地域活性化部会」が凧揚げ以外の活動がないので、他にも活性化となる事業も取り組んでいってほしいです。
- ・多くの住宅がある地域だと思うので、防災に関しての事業もぜひ計画していってほしいです。
- ・茅ヶ崎市はリモートワークで、住みやすさと美しい海を求めて移住した人が多いとのこと、今後は、オンライン活動が十分に担え、かつ、地域の恵まれた住環境を愛する人の両方を兼ねた人材が発掘できそうです。
- ・ホームページのリニューアルの検討・実施をされましたが、これからも魅力ある情報発信を期待します。
- ・広報誌やコミセン、屋外活動、インターネット利用と、多様な手段・チャンネルで地域活動を継続されていて、工夫が感じられます。
- ・高砂コミュニティセンターの指定管理者として、センターの更なる活用を検討されますように期待します。地域の課題を広く把握するためには、アンケート調査や参加自由の懇談会などをされてはいかがでしょうか。
- ・検証を丁寧にすることでより一層効果的な事業ができると思います。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・広報「青松」に協議会ホームページのQRコードを記載するなどして、タイムリーな情報を双方の特性を活かしながらこれからも発信してください。
- ・「自転車とまれ」のステッカー成功とありますが、これは費用対効果も高いので、他地区にも大いに啓蒙してください。
- ・駅近くで人口も多い地域だと思います。また若い世代も多いと思いますので、子育て世代も参加出来る事業があれば良いと思います。
- ・社会の状況に応じ、柔軟に活動を展開しているように感じます。観光客の残したごみの問題は悩みが深く、地域の人だけで解決するものではありません。湘南の海は高いブランド力を誇り、茅ヶ崎市民ではなくても大切に思っている近隣の人々も多いと思います。そのブランド力やカルチャーを活かし市域を超えた湘南らしいクリエイティブなキャンペーン等を考えてみてはいかがでしょうか？
- ・凧揚げ大会等、地域の魅力発信に今後も期待しています。
- ・今後もぜひ精力的な活動を継続していただきたいです。
- ・力のある協議会だと思いますので、他の模範になるような成果を意識して取り組んでいただきたいです。
- ・この地区からSDGsを他の地区に広げていってほしい。
- ・活動がSDGsのどのターゲットに結びついているかをマッピングすることで、意義を共有しやすくなり、協賛などを得やすくなると思います。

団 体 名

鶴嶺西地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・コロナ対策のため、取り組みの検討・中止の繰り返しが続き、年間を通して活動に大きな影響がありました。
- ・コロナ禍であっても、運営委員会、役員会、各部会を中心に、精力的に継続的に会議が行われ、安定的な運営に繋がっていると思います。
- ・コロナ禍にあっても、「まちぢから協議会連絡会」と連携して、役員会及び運営委員会において同連絡会報告が確実に実施されているようで、評価されます。
- ・昨年度の報告書で、ホームページに投稿できるようにするとのことでしたが、今回の報告書で、「運営委員団体からの投稿数は42件です」との記述があり、実現されていることを知りました。大変良いことと思います。
- ・委員名簿の年度が西暦となっているので、資料内の他の項目と合わせて和暦の方が見やすいと思います。
- ・「子供部会」と「子ども部会」が混在されて明記されていました。
- ・繰越金がかなり積みあがっていますが、この点について説明が必要です。
- ・一部中止もありますが、コロナ禍でも継続的に活動されていることが素晴らしいと思います。

事業の実施状況及び効果について

- ・コロナのためいろいろな行事が中止となり、また子ども部会は活動を休止されて、大変残念でした。しかし、アンケート調査を行われ、これから分析して報告書を作成されて、協議会の活動に活かしていかれるとのことで、大変良いことと思います。
- ・実施報告書に、部会として広報部会と自治会部会の報告ありませんでした。
- ・コロナ禍を考慮して、防災訓練をより常態化するように実施してください。
- ・防災の活動では「防災シミュレーションゲーム」（クロスワード）を用いて、各自治会で活発な意見交換が行われた様なので、良かったと思います。また今回の実施により今後の課題も見えてきたと思います。
- ・地区特性から、防災無線の取り扱い訓練、習熟化は災害に備えての必須事項ですので、この確認作業、アンテナ改修等が終了したことは大変に心強く思います。
- ・防災の取り組みで、自治会独自の無線チャンネルや、クロスカードのシミュレーションゲームによる地域課題の抽出、マンション等の集合住宅管理組合との経験交流など、多角的に活動を広げています。より具体的な災害時の対応についてイメージを共有し、防災活動が進んでいます。
- ・鶴嶺西地区まちづくりアンケートは、10自治会全加入世帯で実施し、まちの声を現す貴重な調査となっています。
- ・まちづくりアンケート調査は、地域の皆さんの抱えている問題・課題の把握になり、魅力ある地域づくりのために有効なものでした。
- ・地域住民にアンケートをとり、住民が実際求めていることに耳をかたむけて今後の活動に生かそうとしている点を評価します。
- ・アンケート用紙に茅ヶ崎市とまちぢから協議会の関係を説明された点も、とても良いと思います。

- ・大規模なアンケート実施を行い、回収率も良く、良かったです。集計結果も何らかの方法で公開されると更に良いと思います。
- ・地道ですがとても大切な取り組みであるアンケート実施は素晴らしいですね。

今後の事業展開や発展について

- ・子ども部会の（具体的な）事業計画がありませんので、子ども達が参加出来る企画（事業）を計画出来ると良いと思います。
- ・広報紙の各世帯への配布とホームページの活用による情報発信は、地域に関心を持つきっかけとなります。自治会加入率プロジェクトチーム会議で加入促進チラシの作成をした際など、様々な機会に協議会の活動も紹介されると良いと思います。
- ・マンション等の個々の自治会が並立するこの地区では、意思疎通を図ることのハードルが高いかと推されます。この意味でアンケート結果を分析して、その結果から更なる対処策が出ることに期待します。
- ・アンケート結果と、結果をどう地域に反映していくのか、単に行政への要請で終わらないような工夫を期待しています。
- ・無線は今後地域で増設する予定はありますでしょうか？まちぢから協議会の外との交信も行っていきますか？無線を使ったイベント（子供の夏休みイベント等）も充実すると、技術×防災でいつもと違った活動が展開できるように思います。
- ・アンケートを実施することでどうなったのか？というビフォーアフターを今後示していくことが、成果の可視化につながると思います。楽しみにしております。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・今年度は地域みんなで参加出来る企画（事業）も計画され、さらに活性化して行ってほしいです。
- ・防災無線は、地域内に49台あり、今後の災害時にも大変有効だと思います。地域内だけでなく、地域の外と交信できることも重要です。通常の電話やネット回線以外にも通信チャンネルがあることは非常に強味になると思いますので、ぜひ継続してほしいと思います。
- ・ここ数年はコロナ対策のため様々な活動が大きな影響を受けています。活動が縮小するとこれまで参加していた方が徐々に離れてしまい、団体・組織の活動に影響することがあります。少しでもつながりを持った活動ができると良いと思います。
- ・アンケートの結果を生かして地域住民の想いが反映されることを願います。
- ・アンケート結果の分析が従来予想を上回る者であれば、論文化して共有できるようにすると良いと考えます。
- ・アンケートの結果を地域へフィードバックすることで、今後の活動への理解や今後のアンケートへの回答につながると思います。
- ・魅力ある資源のある地域です。部会等、さらなる活動に期待します。
- ・継続的なアンケート実施を是非お願いします。

団 体 名

茅ヶ崎地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・コロナ感染防止のため、活動を自粛せざるを得なかった1年間でした。
- ・コロナ禍にあっても、運営委員会や役員会、防災部会を中心に、地域での協議を定期的に継続し、地域内情報の共有に努めていらっしゃいます。
- ・コロナ禍にあっても、運営委員会は「まちぢから協議会」と連携して、また役員会での同定例会報告と併せて確実に実施されているようで、評価されます。
- ・茅ヶ崎駅に近接する地区の特性として、収支予算、決算とも妥当と判断します。
- ・予算の内訳で、お茶代・食事代・懇親会とある5項目の合計が高額なので、もう少し具体的な内訳が必要かと思います。
- ・議員との意見交換会の内容も報告があると良いと思います。
- ・中止も目立ちますが、コロナ禍でも継続的に活動されていることが素晴らしいと思います。

事業の実施状況及び効果について

- ・オリジナルウェアの着用は、着用する人の連帯感を高め、ベストを着た人を目にすることで「まちぢから協議会の人」と認知され、「まちぢから協議会の人」が活動している」様子が可視化され、地域外からの人にとっては、地域活動が熱心な地域にみえると思います。オリジナルベストは、まちの主体性や連帯といった自治力（まさに「まちぢから」）を可視化するよいツールだと思います。
- ・コロナ禍においてほとんどの事業が中止となってしまい、残念に思えます。防災などに関しては工夫をして、少しでも活動してほしかったです。
- ・問題点が総花的で絞り込み切れていませんので、改善結果がわかりにくいと判断されます。
- ・事業の実施の決定はコロナ禍でリーダーの方々の悩みだと思います。その悩みを是非翌年度に活かす事業計画を策定して行ってほしいです。

今後の事業展開や発展について

- ・コロナでいろいろな地域イベントが中止となり、苦勞されておられると思います。運営委員会や役員会は着実に開催されていて、組織の基礎は築かれているようです。地域課題の把握のために、広くまだ協議会活動に参加されていない地区内の方々の声を聞く場を設けたり、アンケート調査を行ったりすることが有効ではないかと思います。また、コミュニティセンターの管理運営に関することについても、協議会活動の発展の起爆剤として積極的にお考えになってほしいです。
- ・令和4年度の防災部会活動は、防災リーダーフォローアップ研修とありますが、もう少し内容を詳細に明記されているのが良いと思います。
- ・視察研修や研修会は目的や内容も明記されているのが良いと思います。
- ・駅に近く、地域的に早くから人口が増え集合住宅も多い地域であり、高齢者対策・防災対策も含め地域から孤立する方が無いよう、広報紙等を活用した情報提供がこれからも大切であると思います。
- ・問題点をランダム列挙、グループ分けして、優先順位を付けて頂けるとわかりやすくなります。
- ・コロナ禍で多くのイベントが中止したことで、広報にはまちぢから協議会参加団体の紹介が掲載されていました。この着想は有意義に思いました。参加団体の紹介は、これまで接点の多くなかった

団体についてよく知る良いきっかけで、地域の中の活動構成が可視化されると思います。そのことで、活動に関心をもったり、地域の知り合いがつながったりして、ネットワークが広がる可能性があります。可能であれば写真等も掲載すると、「みたことある人」「知っている活動」が増え、地域内の新しい資源の発掘につながるかもしれません。イベントの有無にかかわらず、毎号コーナーを設けても面白いと思います。

- ・with コロナ時代をどのように取り組むか、という視点が強まると良いと思います。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・地域全体（住民）が参加出来る企画（事業）の事業計画が少ない様に思えますので、今後は地域全体の参加出来る企画があると地区全体の活性化に繋がると思います。
- ・衰退するエメロード商店街の打開策を真剣に考えて頂きたい。ここをマンション街等と並立する雑多な地区にしてよいのでしょうか。
- ・マンションの自治会が多く、商店街もあり、住民の多様性が感じられます。住民の多世代性を活かした活動が期待できるように感じます。
- ・今年は地域の一斉清掃は活動を自粛しているようですが、地域美化活動として、清掃以外の楽しい活動もありますか？清掃活動に加えて、地域アートや街角ガーデニングでまちを美しくする活動、地域美化活動について考えるお茶会など、清掃する⇒雑草やごみ発生⇒清掃する、の繰り返しから、一歩先の展開があることを期待します。または既に地域で活動があるようにも思いますので、その場合は、清掃活動とそれらの活動をつなげることで、地域課題の深堀や新しい資源の発掘につながるように思います。
- ・清掃場所をシェアしたり、役員がマンション自治会の様子を見に行けるようにしたりすることで顔の見える関係づくりにもつながると思います。
- ・コロナ禍でもできることを探して活動されることを期待します。
- ・資源のある地域です。防災部会以外に、さらに地域の魅力発信等につながる活動を期待します。
- ・様々な団体との協働など模索されると良いと思います。

団 体 名

小和田地区まちづくり協議会

団体の運営について

- ・コロナ禍にあっても、運営委員会や役員会を確実に実施されているようで、評価されます。
- ・会議の内容の濃さに地域に対する気持ちがうかがえてよいと思います。
- ・地域が安全で安心して暮らせるよう、役員会を始め各部会も充実した取り組みが行われています。
- ・広報紙は例年通り各家庭に配布され、地域の活動が身近に感じられたのではないのでしょうか。
- ・コロナ禍であっても、各団体が活動を継続し、地域活動の内容や幅が十分に維持されています。
- ・構成員も戸建て自治会とマンション自治会、青少年団体等とバランスよく構成されています。
- ・収支予算・決算については、妥当と判断します。
- ・委員会名簿に地区担当職員の名前が記載されており、市が協働のパートナーとして位置付けられていることはとてもいいことだと思います。
- ・コロナ禍でも継続的に活動されていることが素晴らしいと思います。

事業の実施状況及び効果について

- ・コロナ禍でも顔を合わせて活動する機会をたくさん設けられている点が良いと思います。
- ・辻堂駅周辺の都市開発の進行により、変化の大きな地区ですが、「こわだみらい部会」の設置や「市長と小和田地区の未来を創る会」の取り組みなど、地区の将来を総合的に考える姿勢が重視されているようで、大変結構なことと思います。
- ・福祉部会の認知症サポーター養成講座は、現代のニーズにあったもので良かったと思います。これからも継続してサポーターの輪を広げていってほしいと思います。
- ・まちづくり部会の「みちの愛称プロジェクト」は、これによつての効果など（例えば防災訓練で活用出来たなど）の報告も期待します。
- ・まちづくり部会の取り組みは、みちの愛称プロジェクトには2,833の投票があり、地域での盛り上がりを感じます。みちの愛称の看板設置場所の選定や看板作成、交通安全の視点による通学路等の検討、小学生による安全マップづくり、みちの愛称プロジェクトと防災の活動とを兼ねたシンポジウムの実施まで丁寧に行い、これまでの一連のまちづくりの成果がつながり集約されつつあると感じます。
- ・地域・団体・行政等が連携しコロナ対策に努めながら各取り組みを実施し、周知できたことは地域の安全につながるもので、継続的な活動に期待します。
- ・地区の為に市長と意見交換の場を持つなど、きちんと活動されていると思います。
- ・喫緊の課題は辻堂駅周辺の発展に伴い急速に増える交通量の問題で、これが重点施策となっているのは適当といえます。
- ・この意味で、ゾーン30キャンペーンは評価できます。
- ・福祉部会の認知症の取り組みが充実していると感じます。声掛け訓練、わかりやすさを心掛けたサポーター養成講座、QRコードを盛り込んだ独自のチラシ作成、実際のまちを歩いての模擬訓練、綿密な自治会との情報共有と、認知症の方々を地域でサポートするという真摯な姿勢と熱意が感じられます。
- ・報告書がとても読みやすいです。

今後の事業展開や発展について

- ・委員の中には、子ども達に携わる方も参加されているので、子育て世代（子ども達）も参加しやすい事業を増やしても良いと感じました。
- ・広報紙「小和田まちぢからニュース」は、各部会やまちぢから協議会の活動がきちんと報告されていて良いと思いますが、もう少し見やすくする工夫も必要に感じます。
- ・大運動会は、コロナ禍で実現は難しいかもしれませんが、個々人の健康促進の活動を始めるのはいかがでしょうか？みちの愛称と安全、子供たちの様子を確認しながらウォーキングをするキャンペーン等、構築してきたまちづくり成果を確認・利用するきっかけがあるとさらに展開すると思います。その中で、新たなつながりやまちの課題が見えてくることもあると思います。
- ・小出七福神巡りは、地道な努力が成されていると思われませんが、定着発展させるためにはもう少しアイデアを募集するとかした方が良いと考えます。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・とても前向きな取り組みと感じます。
- ・地域が活発に活動している様に感じます。今後は若い世代（子育て世代や子ども達）も一緒に参加出来る事業が、加わると更に良くなると思います。
- ・福祉部会を一度解散し、4年度から福祉部会は地区社協が担い、新たに「こわだみらい部会」が組織されています。若い世代も多く、一方、高齢者世帯等も増加している地域です。これからも地域の皆さんが住みやすい今後も充実した取り組みを期待します。
- ・広報誌の内容がとても充実していると感じます。地域活動の詳細な情報や写真、活動団体の紹介や協議会の方々の顔がわかる写真、まちぢから協議会の活動の充実ぶりがうかがえます。Zoom や QRコードも積極的に利用され、地域の多様な世代へのつながりに期待が感じられます。
- ・ボランティアスタッフ運営のコミュニティカフェ（YU-ZU ルームカフェ）が、YU-ZU ルームの居心地を良くしており、YU-ZU ルームが地域拠点としてさらに機能していくことが期待されます。
- ・今後もまちの将来像を膨らませて地域の為に楽しく活動されることを期待します。

団 体 名

南湖地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・コロナ感染防止のため、活動を自粛せざるを得なかった1年間でした。
- ・運営委員会、役員会、自治会連合会、広報部会、防災部会と精力的に活動を継続しています。地域情報の共有と発信にご尽力されていると感じます。
- ・運営委員会、役員会をそれなりに実施されてはいるようですが、具体的な施策が見えてきません。自治会連合会も負担金をもってそれなりの協議をしているかと思いますが、同様に曖昧な感じがします。
- ・加えて、防災部会も検討中とのことでやや心もとないです。
- ・役員会、運営委員会の内容をもう少し詳しく明記されると良いと思います。（例えば「定例会について」とありますが、定例会のどのような事についての内容など）
- ・各部会の報告がなかったのが、明記されていると良かったと思います。
- ・収支決算の支出の部の内訳をもう少し詳細に明記されていると良いと思います。（例えば「会議費」の内訳で「総会費用・会議代」とありますが、お茶代や食事代なのか資料代なのか不明です）
- ・納涼盆踊りほか様々な事業が中止になって残念です。コミュニティセンターの管理運営を協議会の中に組み入れ、また自治会連合会も協議会に組み入れるという組織整備をおこなってこられていますので、コロナ後の展開に期待します。

事業の実施状況及び効果について

- ・コロナ禍で予定していた様々な事業が中止される中、工夫をしながら協議や活動をされている点が良いと思いました。
- ・コロナ禍であっても、規模を縮小するとか、参加者を分割するとか、工夫をしながら活動を継続されています。特に日々のまちの安全安心は、本来的にもコロナ禍であっても必要な活動です。
- ・コロナ禍で中止となってしまった事業が多かったですが、地域内各種団体等へのアンケートを行った活動は良かったと思います。アンケート結果が報告されていると、さらに良かったと思います。
- ・まちぢから協議会がアンケートをとりまとめることで、住民個人の意見でなく、地域の意見として市に取りまとめることができたことはとても意義深いことです。
- ・今後もまちぢから協議会が中心となり、地域の意見の集約が行われることを期待しています。
- ・ホームページをリニューアルし、特に南湖地区の歴史・人物・史跡・風物の今昔については魅力のある資源であると感じました。
- ・パトロールや見守り活動の参加時だけでなく、「ウォーキング、犬の散歩といった日常生活の中に【防犯の視点】をもって見守りを行うことも、安全安心を守る活動の一つ」という広報の記述は、活動の本旨となる重要な点です。広報を通じて地域に絶えず呼びかけることが効果的だと感じます。
- ・西浜駐車場跡地利用策は、単独では決められないでしょうから、新たな仕掛けが必要だと思われます。
- ・コロナ禍でもできることを着実に、という姿勢がとても伝わってきました。

今後の事業展開や発展について

- 事業計画の各事業に具体的な活動予定（実施日や回数、内容）も明記されていると良かったです。
- 広報紙をきっかけとしてホームページを活用し地域について知っていただくとともに、魅力ある情報発信と活動を続けていただきたいと思います。
- 西浜駐車場跡地利用策は、継続検討事項として、別の実施案にシフトするのもありかなと考えられます。
- 旧西浜駐車場の利活用について、議論が進んでいるようです。まちぢから協議会と市との協議が進み、地域に対して利活用のアイデアを募集した結果、多様な提案があったとのこと。まちぢから協議会が、地域の意見を収集集約する場として十分機能していると実感します。そこで今後は、計画が具体化するにあたって、より空間の実利用をイメージし、地域での具体的な利用方法を検討するなど、より地域の実態に近い利用とその空間をイメージしながら、協議を進めてほしいと思います。
- 地域コミュニティの衰退につながらないように、今後の巻き返し戦略を是非よく検討してください。

その他、将来に対する助言・期待等

- 歴史ある地域の地区だと思うので、さらに活性化を進めていく上で、幅広い世代との交流も必要と感じました。そのためにも、まちぢからとしての企画（事業）を多く取り入れて行ってほしいと思います。
- 地域の歴史も古く史跡も点在し、浜降祭など身近な行事があります。これらに関する活動があると南湖地区だけではなく他の地区からも多くの関心をもたれる魅力ある活動につながると思います。
- 市民集会のやり方について改善がされるとの事、今までにない新しいアイデアが出ることを期待しています。
- 旧西浜駐車場と北側の公園用地と一体となった空間の利活用が望めるようなので、ぜひ南湖地区の皆さんにとって、住みよい居住環境の条件を今一度具体化し、それを充実させる計画となると思います。
- まちぢから協議会が意見集約を行う正当性を分かりやすく示すために、南湖地区まちぢから協議会が市から認定されているコミュニティであることを広報紙に記載したほうが良いと思います。

団 体 名

鶴嶺東地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・コロナ感染防止のため、活動を自粛せざるを得なかった1年間でした。
- ・部会に関しても、2ヶ月に1回と少なく感じます。
- ・コロナ禍とはいえ、運営委員会、役員会とも実施回数が極端に少なく、外部から見て疑問です。
- ・活性化を目指して、組織の改革も必要かと判断されます。
- ・リモートも利用し、コロナ禍へ配慮しながら会議開催を継続しています。
- ・構成員は、まちぢから協議会の活動方針にそって、戸建てと集合住宅自治会、青少年団体等バランスよく構成され、コミュニティセンターの所属の方も多いため、コミュニティ支援を安定し充実した様子が見えます。
- ・リモート実施に積極的に取り組まれているのは素晴らしいです。

事業の実施状況及び効果について

- ・地域に寄り添った温かい活動がされていて素晴らしいと思います。
- ・コミュニティセンターの運営が協議会と一体となり、またいくつかの部会が立ち上がり、特定事業としての子供の見守り事業を起爆剤として一斉に動き出した感があります。協議会の仕組みとコミュニティセンターを活用され、さらに発展されることを期待します。
- ・広報紙「スクラム」はとても見やすく、各部会の活動も掲載されており、まちぢから協議会の活動が伝わりました。特に防災訓練結果もまとめられていて良かったです。
- ・会報誌の内容が濃く、読みごたえがあって良いと思いました。
- ・「子どもの見守り活動」では、調査結果をもとに実行出来たことは良かったと思います。
- ・活動が制限される中、「子どもの見守り活動」を部会共通のテーマで取り上げ成果を上げました。見守り旗は横断歩道だけではなく地域で見守り活動を行っていることを示すものとして今後も有効に活用され、さらに地域全体に発展することを期待します。
- ・鶴嶺東地区の課題の一つとして、登下校する子供の交通安全に着目し、各校区の部会ごとの活動を基礎に、具体的な課題箇所の抽出調査、対策に向けた各学区をつないだ学区間横断の事業へと大きく横展開されています。
- ・市の認定事業として認められ、「見守り旗」を作成されているとのこと、「見守り旗」は、見守られる子供たちの交通安全への意識啓発と地域活動への関心喚起につながり、まちぢから協議会の活動を地域全体へ可視化し、同時にドライバーや不審者への警告にもつながるともよいツールだと思います。
- ・学校が多い地区ということで、特定事業として子供の見守り活動を上げていますが、結果の考察がありませんので、効果検証をお願いします。
- ・地区内に学校が複数あると思います。交通安全については、共通する事項があると思いますので、上手く情報共有をして事業を進めていただけたらと思います。

今後の事業展開や発展について

- ・事業計画ですが、具体的（実施日や内容）な明記がされていると良いと思います。
- ・歴史ある地域で魅力ある資源があります。ホームページ等で地域の情報発信を積極的に行うことで地域の活動がさらに広がる可能性があります。
- ・子どもたちの交通安全上、課題だった経路は、災害時の避難時にはもっと違った様相のリスクが潜んでいる可能性があります。ぜひ日常と災害時の両方をイメージして、道路空間を見直していただけるといいと思います。その知見は、令和4年度事業計画にあがっている「避難行動要支援者等災害時避難弱者の支援マップ作成」にも有効に活用されると思います。
- ・場合によっては、中学生に参画してもらい、地域に住む災害時避難弱者について、地域全体で考えるよいきっかけづくりになるといいと思います。
- ・今年度は各部会の活性化のためにも、毎月の会議での情報交換が望ましいと思います。
- ・住民の要望事項に関して、アンケート調査を実施したらいかがでしょうか。
- ・いずれの事業も目的があって実施されているはずのため、具体的なロードマップで地域がどのように変化するのか、というビジョンを示せると良いと思います。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・地域の子どもは地域で育てるという理念が素晴らしいです。継続していただけることを期待します。
- ・子育て世代に向けた事業（企画）も取り入れてみてください。
- ・コミュニティセンターやボランティアセンターの支援力が高く、まちぢからの要の一つと思われる。とても素晴らしい活動だと思いますのでぜひ安定的に活動を続けて頂きたいと思います。
- ・「地域の子どもは地域で守る・育む、地域も子どもと共に育つ」のスローガンは、地域活動の方針や目標が端的に示され、わかりやすく、地域の真摯な姿勢と熱意が伝わり共感呼びやすいと思います。鶴嶺東のシンボルマークと合わせ、いろんな媒体に、このフレーズを可視化してほしいと思います。

団 体 名

湘南地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・運営委員会、役員会、各部会活動、調査やイベント、広報活動、学習支援活動、パトロール等、年間を通して、きめ細やかで定期的・精力的な会議や事業を行っています。年間を通して地域の毎日の暮らしを支え、充実した運営がなされている様子がうかがえます。
- ・コロナ対策に努めながら、広報・防災・安全、子ども育成、スポーツ等、様々な分野に積極的に取り組み、部会も含め幅広い活動がされています。魅力ある地域づくりが展開されています。
- ・コロナ禍にあっても、運営委員会と役員会を確実に実施されているようで、評価されます。
- ・収支予算・決算等では繰越金がかかなりの割合を占めていますので、その説明と、適正化策を提示していただくのが良いかと考えます。
- ・既存事業の拡大、または一時停止等の改廃も視野に入れても良いかと考えます。
- ・自治会を通じて各世帯から一定額を負担していただいております、財政の安定につながっています。
- ・模範です。

事業の実施状況及び効果について

- ・コロナ禍で様々な規制がある中、思い切った活動をされていて素晴らしいです。
- ・コロナ禍で中止になったもの以外でも、各部会を中心にとっても活発に活動が出来ていたと思います。
- ・地域・団体・行政との連携により活動をより充実したものにしています。
- ・多彩な事業を手掛けられています。特定事業の仕組みを上手に使うって実験的に実施し、補助金がなくても実施できるようであれば特定事業の申請はしない、というように事業を発展させています。中でも、中学生の学習支援・居場所づくりは素晴らしい活動です。
- ・海岸清掃や募金活動では委員のみだけでなく、他の団体とも協力し地域全体での取り組みとなった様で良かったです。
- ・交通事故撲滅運動は、呼びかけだけでなく調査の実施を行い結果も出したのは、良かったと思います。
- ・広報紙とHPが、QRコードを活用して関連付けるなどの工夫がされ、とても良い事だと思います。
- ・HPの充実ぶりが素晴らしいと思います。新しいツールを次々に採用し、サイト運営を行っています。スマホからのアクセスが一般化している現状を踏まえ、スマホ利用を前提としたサイトづくりにご尽力されていて先進的だと思います。
- ・少子高齢化の時代、「おでかけワゴン」「中学生の居場所づくり」等の事業は必要とこだわりを感じます。さらに発展させて、他地区のモデルになって頂きたいと評価します。
- ・松林地区の「ふくろう塾」の取り組みを参考に、中学生の居場所づくりに取り組んでいて、地域の子供たちにとって非常に有意義な取り組みだと感じます。湘南地区のこどもたちの実態を、地域交流や中学校との連携から詳細に観察し、課題を的確に捉えていらっしゃると思います。問題へのアプローチ方法も、熟慮と先進事例の知見を踏まえての実践で、大きく展開していると思います。

今後の事業展開や発展について

- ・関係者・地域の方が中心となって熱心に様々なテーマに取り組んでいます。他の地区にも大いに参考となる活動がいくつもあります。これからも新たな人材の参加・育成をし、引き続き魅力ある地域づくり・活動を期待します。
- ・「おでかけワゴン」「中学生の居場所づくり」の事業継続には、ボランティア以外に中心となる専門職も必要かと考えられます。その継続的な人材養成案を是非公開して共有できるようにしてください。
- ・HPは、サイトを開いた後は、コンテンツの作成更新と維持管理が問題となりやすいです。動画も含めたコンテンツを用意しているようで素晴らしいと思います。一方で、多くを求めすぎると活動が疲弊する場合があります。楽しめて多少余裕があるうちはいいと思いますが、まずはある情報を安定して届けるでも十分だと思います。すでに取り組まれているようですが、コンテンツ提供者を地域内から発掘し、それが新しいつながりになることを期待しています。
- ・令和4年度の事業計画についても勢いが感じられて今後の益々の発展が楽しみです。
- ・今後も多くの事業を予定していますので、コロナ禍での開催に工夫をしながら進めていってほしいです。
- ・他の地域でも応用されるような水平展開のイメージで広報活動に力を入れてほしいです。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・活動が活発な地域（地区）だと感じます。このまま事業が予定通り実施出来ることを期待します。
- ・資料がとても分かりやすくまとめられていて誠実な活動が伝わってきました。
- ・地区の特性からして、もう少し防災関係に注力しても良いかと考えます。
- ・中学生の居場所づくりについて、親でもなく学校関係者以外の大人との交流、または比較的年齢の近い世代での交流がローティーンの子供たちには不可欠です。一回の参加人数が多くはなくても非常に価値のあるものだと思います。学校の協力のもと、このような居場所づくりが広がることに大いに期待しています。
- ・とても一体感があり、力もある協議会なので、どんどん新しいことにチャレンジをされて、同時に既存の取り組みを新しい人たちが推進していく流れをつくりきってほしいです。

団体名

松浪地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・コロナの影響で活動に大きな影響の出た1年でした。
- ・コロナ禍で事業の開催が制限されたなかでも、協議を続けていらっしゃる点が素晴らしいです。
- ・役員会、運営委員会が毎月定期的に行われて良かったと思います。
- ・茅ヶ崎市コミュニティ制度のモデル地区とあって、コロナ禍にあっても、運営委員会と役員会を確実に実施されているようで、評価されます。
- ・運営員会、役員会、広報部会、防災対策部会を中心に、定期的に会議を開催し、またコロナ禍に配慮し書面会議にするなど、工夫をしながら運営が安定的に行われています。
- ・各部会はやや実施が少なく感じます。（特に防災対策部会、市民安全部会）
- ・広報委員会がある様ですが、委員名簿や広報紙にも明記がありませんでした。
- ・分担金もあって、収支予算・決算とも妥当と考えられます。
- ・自治会を通じて協議会の財政を充実されているのは大変良いことと思います。
- ・一部中止もありますが、コロナ禍でも継続的に活動されていることが素晴らしいと思います。

事業の実施状況及び効果について

- ・地域・学校等との連携の良さを感じます。
- ・あいさつの街の看板製作に松浪中学校生が参加し、地域の連帯感、交流が深められた良い取り組みであったと思います。
- ・市民集会はコロナ禍を考慮し工夫をしながら開催出来たのは良かったと思います。あとは、集会での意見・質問と回答などの結果を、広報やHPを利用するなどして公開されていると、より良いと思います。
- ・コロナ禍で、研修会が2年続いて中止となったことは残念です。研修で、ある意味理論的裏付けを得ることは必要ですから、次回は形を変えても実施すべきかとも考えます。
- ・広報「まっなみだより」はとても読みやすくまとめられていて良かったです。
- ・松浪地区さんぽ道等、地域の情報や魅力発信はこれからも継続をしてください。
- ・まっなみだよりの発行で組織の透明性を地域住民に示すことによって地域住民を巻き込んだの活動を目指していらっしゃる点を評価します。
- ・コロナ禍で各種イベントなどが中止される中、広報の役割が大きくなっていると思います。その中で「まっなみだより」は内容が充実しており、デザインも洗練されており素晴らしいと思います。地域ニュースはもちろん、地域団体の紹介、学校との連携による記事、写真を多用したイベント報告、地域の小学校の歴史が窺える記事、地域出身者の活躍記事と広範で読み応え十分だと感じました。
- ・特に地域内外の人的資源を伝えるコンテンツは重要で、地域のつながりを強くし、地域への愛着を育むものとなっていると思います。ぜひ今後も事業を継続していただきたいと思います。
- ・「まっなみだより」は素晴らしいクオリティですね。

今後の事業展開や発展について

- コミュニティセンターの場や組織を活用して協議会の活動の幅を広げていかれるといいと思います。
- 全体での事業計画はありますが、各部会の事業計画と内容の明記があれば良かったと思います。
- 情報公開など情報発信が丁寧に行われている地域です。
- 防災関連では、感震ブレーカーに注力しているかと思われませんが、地区の特性を考慮してHUG等も取り入れたら良いかと思います。
- HPの更新管理の担当者が増えて更新頻度もあがりレイアウトもよくなったとのこと、素晴らしいと思います。最近は簡便なツールや無料素材も多く、すべてをオリジナルで用意しなくても、それらをうまく使ってHP管理疲れがないいいと思いました。地域の方でも写真なら提供者は多いように思います。住民の方が選ぶ地域の名所・名風景をとって送ってもらい、選んだ理由だけキャプション程度で記載してもらい、などのコーナーも面白そうです。コンテンツ維持の工夫に期待します。
- 広報力の強みを活かして、他の地区にもレクチャーしていただきたいです。

その他、将来に対する助言・期待等

- 松浪コミセンを活用した事業を計画しても良いかと思います。若い世代（子育て世代や子ども達）が参加しやすい企画（事業）を今後はぜひ取り入れて行ってほしいです。
- 余力があれば、イベント情報とかSNS発信にもトライしてみてください。この地区はその力があるかと思われまます。
- 「まつなみだより」発行事業を通して、地域の方々にコンテンツ提供（特に写真なら簡単？）していただき、地域をみる目を育てていただきたいと思います。地域のまちの空間、自然、くらしのある風景、場合によっては音やにおいも含め、地域空間を多くの目で観察し可視化していただきたいと思います。その経験で地域ウォッチャーが登場すると、次はネット上でのつながりから、新たな人材発掘につながるかもしれません。楽しい「まつなみだより」に期待しております。
- オンラインの広報とオフラインのそれとの連動性を意識してほしいです。

団体名

海岸地区まちぢから協議会

団体の運営について

- ・コロナの影響で活動に大きな影響の出た1年でした。
- ・運営委員会、役員会を中心に、地域協議を続け安定的な運営を行っています。
- ・コロナ禍にあっても、「まちぢから協議会連絡会」と連携し、役員会及び運営委員会において、同連絡会報告が確実に実施されているようで、評価されます。
- ・宝くじ助成金があるので予算が大きく思われますが、それを差し引くと堅実な予算・決算枠です。
- ・掲示板を利用した広報が行われ、コロナ禍にあっても非常に有効だったと思います。広報紙面の内容は充実させながらも、業者協議により経費削減の努力もなされています。
- ・中止も目立ちますが、コロナ禍でも継続的に活動されていることが素晴らしいと思います。

事業の実施状況及び効果について

- ・市の財政状況が難しい中で日本宝くじ協会の助成金を得て、災害時にも活用できる掲示板の設置は住民の安心安全につながる大切な取り組みであると思います。これからも地域内に整備されることを期待します。
- ・広報活動について、コロナ禍である状況に柔軟に対応し、これまで行っていなかった方法に積極的に取り組んでいて素晴らしいと思います。コロナ禍で経験を積んだメール等による会議調整、回覧板による活動チラシの配布から非会員をも対象とした全戸配布、イベント開催案内に留まらず、新しい担い手の募集記事や市民集会への参加募集など、コンテンツも随分と充実しています。
- ・広報活動の担い手も、子育て中の親子の協力を得るなど、多様なライフスタイルの人の参画のもと活動が成り立っており、地域をつなぐ効果につながっています。
- ・広報をみた公募委員に比較的若い世代の公募があったことなど、広報の効果が強く感じられます。
- ・広報紙はとてもしっかりと構成されていますが、会長や副会長の挨拶がやや長いと感じました。全体的に文章がやや長めで、全世代向けではない様に感じます。
- ・資金調達をされていることが素晴らしいです。

今後の事業展開や発展について

- ・コロナのためイベントがほぼ中止になったのは残念ですが、運営委員会などは定期的に行われていて、組織活動は安定しているようです。事業計画では、まず課題把握という項目があり、大変よいことと思います。まちぢから協議会に現在関わっていない人たちにも意見を聞く機会を持ったり、アンケート調査などを行ったり、広い視点での課題の把握を期待します。
- ・コミュニティセンターの指定管理者となられたことは新しい活動のきっかけとなるとと思います。センターをどのように活かしていくか、管理委員会と一緒に検討していただきたいと思います。
- ・今年度の事業は、コロナ禍での開催を考えながら工夫をして、実施となるよう期待します。（例えば住民全体が集まらなくても出来るような工夫が出来ると良いと思います。）
- ・地域集会施設の指定管理者となったとのこと、まずは地域の方々のニーズを、なるべく具体的に把握されるといいと思います。そのうえで、場合によってはニーズに優先順位をつけ（必要度・緊急度・対応可能度から判断）、拠点を利用した活動の具体的なイメージを地域や関係者で共有し、事業化に展開すると良いと思います。

- ・コミセンの運営管理については、これからも地域・団体・行政と連携し、魅力ある活動を期待します。
- ・感震ブレーカーの設置に注力していますが、その他 HUG は災害時の事前対応策として効果が期待できます。今後併せて普及させることが良策と考えます。
- ・コロナ禍でどのように事業実施を改善できるか、チャレンジをしてください。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・掲示板設置事業は土地所有者との顔の見える関係性を作ることができてよいと思います。
- ・掲示板の維持管理の工夫で地域を巻き込んでいくこともできると思いますので今後の活用に期待します。
- ・若い世代（子育て世代や子ども達）が参加しやすい企画（事業）を今後はぜひ取り入れてほしいです。
- ・地域住民に寄り添った取り組みや活動が見えてきませんでした。もっと人に寄り添った活動がされると良いのでは？と思いました。
- ・海岸地区ならではのまちのカルチャーと文化に大いに期待しております。掲示板の設置個所が地域全体にバランスよく設置されていると思います。その立地のよさを利用した、掲示板によるミニパブリックアートのイベントやまち歩きイベント、掲示板と小型ソーラー発電照明器具を組み合わせた夜間照明の確保など、ただ広報誌を掲載するのではない掲示板利用もあるのではないかと思います。
- ・茅ヶ崎市の「顔」ともいえる地区ですので、イメージ作りに寄与するような企画も検討企画して頂きたい。

団 体 名

浜須賀地区まちのちから協議会

団体の運営について

- ・役員会、運営委員会の実施が少なく感じました。
- ・コロナ禍とはいえ、他の地区に比べて、運営委員会・役員会とも実施回数が少なく、その意味では活力が感じられません。
- ・運営委員会、役員会、特定事業「すこやか赤ちゃんサポート」を中心に、定期的継続的に会議や事業を行い、安定した団体運営をしています。
- ・防犯指導員代表が4年度新設されています。地域の安全のために啓発活動など期待しています。
- ・部会の事業報告が明記されているのは、「自治会長会」「防災部会」のみでしたが、HPの機構図を見ると他にも存在する様にみえました。
- ・子育てサポート事業に特化しているように見受けられ、その予算を差し引けば適切な予算・決算と判断されます。
- ・コロナ禍でも継続的に活動されていることが素晴らしいと思います。

事業の実施状況及び効果について

- ・コロナ禍でも事業を確実に地域住民に伝えて寄り添い、活動を継続させている点は本当に素晴らしいと思います。
- ・「すこやか赤ちゃんサポート」は、活動内容が毎月工夫されていて参加者も多く、地域に根付いた活動になっていると感じました。今後も継続して行ってほしいです。
- ・すこやか赤ちゃんサポート事業は身近な地域で実施され参加者も安定しています。これからも安心して参加できる魅力ある事業にしてください。
- ・「すこやか赤ちゃん」サポート事業はとてもユニークで、大いに少子化対策の一助となります。今後とも発展させて、他の地区にも啓蒙、普及させるべきかと考えます。
- ・「すこやか赤ちゃんサポート」事業は、赤ちゃんと、乳児期の子供を抱え、自らも産褥期にある母親にとって非常に重要な事業だと思います。幼児と異なり、乳児期・産褥期は、安心して快適にいられる場所が、衛生の面からいっても限定的になりやすいため、地域の中にこのような居場所の選択肢があることが重要です。定期的なイベント開催で参加者が安定しており、効果が出ていると思います。
- ・「当事者として地域のことを考えてもらう」という地域のスローガンにかなった広報活動の工夫が見られます。メイン活動である広報誌には、協議会にかかわる各団体から担当者が参加し、紙面を作成。各団体からの広報への意見集約を行ったり、目安箱設置による住民からの意見集約に取り組み、紙面づくりの前の段階で地域意見や情報を収集する工夫が大いに見られます。
- ・「すこやか赤ちゃんサポート」への参加のきっかけになっているなど、実際の効果も十分に感じられます。
- ・地域ニーズを的確に吸い上げて事業実施されているのは素晴らしいです。

今後の事業展開や発展について

- ・乳幼児サポート事業は最初から先進的な事業として行ってられました。報告書では担い手の不足が課題として書かれていますが、関わっていただいている保健師さんなどとともに、参加されている方や地域の方々に積極的に声をかけられてはどうでしょうか。また、2020年度にアンケートをされたとの報告がありましたが、それを活動に生かすことも有効だと思います。
- ・コロナ禍で、茅ヶ崎市は最近都会よりの移住人口が急激に増加しているようです。その意味で、子育てサポート事業は機を得ているかと判断されますので、少子化対策の一環を担う事業として大いに傾注して頂くと良いかと思えます。
- ・防災部会の活動実施が年1回は、少ないと感じます。防災は全住民が身近なものなので、各自治会での防災活動のみでなく、まちぢの部会としてもリーダーシップをとって力をいれてほしいと思います。
- ・事業計画には、実施予定の事業がありますが、実施日が未定のもが多くありました。おおよその実施日があればそれに合わせたスケジュールやコロナ禍の対応（縮小や変更）も進めやすいと思います。
- ・多くの人に関心をもってもらい情報収集していて素晴らしいと思います。情報収集方法（メディア）と、誰が情報を集めているかによって、内容はかわるので、情報収集の工夫をさらにしてくださるよう期待します。ターゲットに近い主体が情報収集者になると良いと思います。
- ・とても雰囲気の良い地域なのだろうと推察されます。

その他、将来に対する助言・期待等

- ・「まちぢから」とはまさにこういうことだと改めて思われる素晴らしい活動をなさっていると思います。
- ・特定事業の「地域乳児サポート」「広報「浜須賀まちのちから」発行事業」は、しっかりと開催（実施）され、結果をだしていると思います。
- ・防災活動においては、防災訓練以外の活動も工夫をしながら実施へとつなげていくことを期待します。
- ・まちのちからの会員でもある自治会長が昨年、今年と大きく変わっています。負担の多い職ですが、地域・団体・行政が連携し地域の活動を進めてください。
- ・防災関連事業が停止していますが、これは復活させるべきかと考えます。
- ・QRコードはかなり日常生活に定着し便利に使えるようになりました。一方、街中QRコードが詐欺に使われ、防犯上不安な面も指摘されています。スマホはだいぶ定着してきたので、次は、まちぢから協議会が伝えるまちの安心・楽しいQRコードの活用など、地域の方々と学ぶ機会を設定し、新しいまちのコミュニケーションツールを育てていってはどうでしょうか？これを機会に、まちのSNSネットワークからリアルな場でも人材が広がることを期待します。
- ・今後も精力的に、地域住民に寄り添った活動を継続していただくことを期待します。
- ・参加された若い世代が運営にも携わっていく循環を産んでほしいです。
- ・民生委員の方が会長になられており、地域のボトムアップに長けていると思います。一方、何か事業化していく場合は、知見のある方に手伝ってもらうなど、組織の運営の仕方については、改善の余地があると思います。